

【主担当部局：教育委員会】

県民の皆さんとめざす姿

子どもたちが他者とのつながりや自然環境、郷土、社会との関わりの中で、命を大切にする心や思いやりの心、感動する心、公共心、規範意識、人間関係を築く力などの豊かな心を持った人として育つとともに、郷土を愛し、自信を持って語り、郷土三重を担う力を身につけています。

平成 31 年度末での到達目標

道徳教育や郷土教育等を充実することにより、子どもたちが、命を大切にする心や思いやりの心、感動する心、公共心、規範意識などの豊かな心を持つとともに、郷土についての理解を深め、郷土への愛着を深めています。

県民指標						
目標項目	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度		31 年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値
自分には、よいところがあると思う子どもたちの割合	小学生 75.1% 中学生 69.4%	小学生 76.5%	小学生 78.0%	小学生 79.5%		小学生 81.0%
		中学生 70.8%	中学生 72.2%	中学生 73.6%		中学生 75.0%
目標項目の説明と平成 31 年度目標値の考え方						
目標項目の説明	「自分には、よいところがあると思う」という質問に対して、肯定的な回答をした児童生徒の割合					
31 年度目標値の考え方	小中学校とともに、成果をあげている他県の状況をふまえて、現状値からおおむね 5 ポイント高めることとして、目標値を設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度		31 年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値
22201 道徳教育の推進（教育委員会）	人の役に立ちたいと思う子どもたちの割合	小学生 93.7% 中学生 94.1%	小学生 94.1%	小学生 94.5%	小学生 94.5%	小学生 94.7%	小学生 95.0%
			中学生 94.4%	中学生 94.6%	中学生 94.6%	中学生 94.8%	中学生 95.0%
			小学生 94.5%	小学生 92.8%			
			中学生 93.0%	中学生 92.5%			

活動指標		27年度	28年度	29年度	30年度		31年度
基本事業	目標項目	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値
		22202 郷土教育の推進（教育委員会）	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある子どもたちの割合	小学生 41.3% 中学生 30.0%	小学生 46.4% 中学生 35.0% 小学生 69.3% 中学生 61.0%	小学生 51.6% 中学生 40.0% 小学生 40.1% 中学生 31.6%	小学生 56.8% 中学生 45.0%
22203 読書活動・文化芸術活動の推進（教育委員会）	授業時間以外に読書をする子どもたちの割合	小学校 61.1% 中学校 48.6%	小学校 62.3% 中学校 50.2% 小学生 62.4% 中学生 46.4%	小学校 63.5% 中学校 51.8% 小学校 61.8% 中学校 47.7%	小学校 64.7% 中学校 53.4%		小学校 66.0% 中学校 55.0%

現状と課題

- ①平成 30 年度から小学校において教科化された道徳科の指導方法や評価について、指導主事や教員を対象とした研修を実施しました。また、2名の道徳教育アドバイザーを小中学校等に派遣し、模擬授業を行うとともに授業を参観するなどして、道徳科の授業づくりについてよりきめ細かな指導助言を行うことにより、道徳教育の充実を図っています。引き続き、物事を多面的・多角的にとらえ、自らの生き方についての考えを深める道徳教育が県全体で円滑に実施されるよう取り組む必要があります。
- ②子どもたちが豊かな心を持ち、郷土を知り、郷土を愛し、三重県について自信をもって語るができるよう、各学校では地域の自然、歴史、文化などを学ぶ取組を進めています。今後、子どもたちが地域の一員として、身近な地域や社会の課題に関心をもつとともに、郷土三重を担う力を身につける取組を進める必要があります。
- ③子どもたちの豊かな人間性を養い、創造力を育むため、読書習慣の定着に取り組むことが大切です。しかし、小学校から中学校、高等学校と進むにつれ、読書離れが進む傾向にあるなど、依然として課題がみられます。また、これまでの取組では、読書が好きな子どもたちが参加することが多く、他の子どもたちにいかに働きかけていくかが課題となっており、幅広い子どもたちへの読書へのきっかけづくりや読書に親しむ機会の拡充を図ることが必要です。
- ④8月に開催された全国高等学校総合文化祭（長野大会）へ生徒を派遣し、作品の出展等を支援しました。11月に開催された近畿高等学校総合文化祭（徳島大会）にも生徒を派遣し、作品の出展等を支援するとともに、みえ高文祭の開催を支援しました。文化部生徒の技術力、創造力を高め、他校の生徒との交流により、さらなる芸術文化活動の推進に取り組む必要があります。

平成 31 年度の取組方向

- ①子どもたちに、命を大切に作る心や思いやりの心、規範意識等の豊かな心を育むため、さらに道徳教育の充実を図ります。そのため、「考え、議論する道徳」の授業を通して、子どもたちが多様な感じ方や考え方に接し、考えを深め、判断し、表現することができるよう、研修会の実施や道徳教育アドバイザーによる指導・助言を行うなど、より質の高い授業のための指導方法や評価などについて理解を図る取組を進めていきます。

- ②子どもたちが郷土への愛着や誇りをもち、三重について発信できる力を身につけられるよう、学校生活や地域等の課題について、解決に向けて行動した内容等を発信する取組をさらに普及していきます。
- ③子どもたちが本を身近なものと感じ、読書を楽しむことができるよう、図書館、市町教育委員会等と連携し、同世代の子ども同士で本を紹介しあう読書経験の共有や、さまざまな図書に触れる読書機会の拡充をはかる取組等を通じて、子どもの読書活動を推進します。
- ④生徒の豊かな感性や情操等を育むため、全国高等学校総合文化祭や近畿高等学校総合文化祭への生徒の派遣や作品の出展等を支援し、生徒の発表や交流を進めることで、文化芸術活動を推進します。

主な事業

①道徳教育総合支援事業【基本事業名：22201 道徳教育の推進】

予算額：(30) 8, 132千円 → (31) 8, 543千円

事業概要：道徳教育の充実を図るため、学校等へ道徳教育アドバイザーを派遣し、「考え、議論する道徳」の授業の効果的な指導方法等にかかる具体的な指導・助言を行います。また、三重県道徳教育推進会議や公開授業をとおして、道徳の教科化をふまえた道徳教育の効果的な指導方法などを普及します。

②「ふるさと三重」郷土教育推進事業【基本事業名：22202 郷土教育の推進】

予算額：(30) 293千円 → (31) 244千円

事業概要：中学生が学校や地域の課題について、仲間と協力して解決した方策を提案する「中学生からの提案・発信」の実施により、子どもたちが地域の一員として郷土三重を担う力を育てます。

③（一部新）子どもと本をつなぐ環境整備促進事業

【基本事業名：22203 読書活動・文化芸術活動の推進】

予算額：(30) 469千円 → (31) 991千円

事業概要：第四次三重県子ども読書活動推進計画の策定に向けた推進会議の開催や、読書ボランティア研修会を実施します。また、新たに良書に親しめる機会をつくる「あなたのための1冊（仮称）」を募集するとともに、小学校期に読書習慣を形成する取組を実施するため実践校に実技指導者を派遣します。

④学力向上のための高校生ビブリオバトル推進事業

【基本事業名：22203 読書活動・文化芸術活動の推進】

予算額：(30) 526千円 → (31) 409千円

事業概要：高校生を対象にビブリオバトル（書評合戦）を開催し、高校生の読書活動を推進します。また、小中学校においてもデモンストレーションを実施するなどビブリオバトルの普及を図り、小中学生の読書活動を推進します。

高校芸術文化祭費【基本事業名：22203 読書活動・文化芸術活動の推進】

予算額：(30) 5,216千円 (31) 4,655千円

事業概要：音楽、美術、演劇など高校生の芸術文化の技術と創造力を磨き、芸術文化活動の活性化を図るとともに、生徒相互の交流を深め、豊かな人間性を育成するため、みえ高文祭の開催や全国高等学校総合文化祭等への生徒派遣を支援します。